

令和8年9月14日

6年生保護者のみなさまへ

刈谷市立小高原小学校長
佐藤 貴裕

全国学力・学習状況調査の調査結果について

本年、4月23日（木）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きましたので、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましては7月に個人票をお渡ししましたのでご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および刈谷市教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、小高原小学校の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。なお、本調査結果は本校のホームページに掲載します。

2 本校の概要

国語	・全体的によく定着しており、満足できる状況である。 ・学習指導要領の内容で示す「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」「読むこと」の多くの内容において、全国平均と同程度または上回っており、おおむね良好な状況である。 ・目的に応じて話の内容を検討したり、文章を読んで理解したことを自分の経験と結び付けて考えをまとめたりする力が、特によく定着していた。 ・今後は、情報と情報との関係を捉えたり、必要な情報を見付けて活用したりする力をさらに伸ばしていきたい。
算数	・全体的によく定着しており、全国平均を上回る満足できる状況である。 ・学習指導要領の領域で示す「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の全てにおいて、全国平均を上回っており、良好な状況である。 ・図形の性質や小数の仕組みを理解し、表や資料から必要な情報を読み取る力がよく定着していた ・今後は、分数の意味や数量の関係を根拠を明確にして説明する力をさらに伸ばしていきたい。
児童質問紙	・「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけない」と考えている児童の割合が高く、思いやりの心や規範意識が育まれている。 ・学校生活や友達との関係に満足している児童が多く、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる児童が多い。 ・「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」と感じられるよう、児童一人一人のよさを認め励まししながら、自己肯定感や自己有用感を育てていきたい。 ・ICT機器を活用した学習に積極的に取り組んでいる。今後も情報モラルの指導を行いながら、学習効果を高めるための活用を進めていきたい。

【個人票の見方等につきまして質問がありましたら、担任までご相談ください】